

経営比較分析表（令和5年度決算）

石川県七尾市 公立能登総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透 I 未 訓 ガ	救 臨 感 へ 災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
48,268	38,640	-	第2種該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
330	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	4	434
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
266	-	266

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

能登中部医療圏の自治体病院としての役割を果たすため下記の事項に取り組んでいる。

- ・高度専門医療や救急医療
- ・回復期医療
- ・政策医療（新興感染症含む）
- ・不採算医療
- ・能登北部医療圏の公立病院への診療支援
- ・地域医療連携

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度はコロナ感染症にかかる補助金が減少し、また、令和6年1月1日の能登半島地震による施設等の破損に対する修繕費用を特別損失として計上しましたが、①経常収支で黒字を計上することができ、②本業である医業収支においても類似病院を上回り良好な状態であり健全な経営状態であると考えます。

一方④病床利用率の低下や⑤⑥患者の診療単価が確保できていないこと⑦収入に対し職員給与費が増大していること等、診療収益の増収に向けた施設基準の取得整備や適切な病床運営に向けた取り組みが必要と考える。

2. 老朽化の状況について

現在の病院施設は平成11年度に完成したもので、施設の経年劣化が進んでいる状態である。

引き続き施設機能を維持するため建物設備の更新や修繕を計画的に行う必要がある。

器械備品の減価償却率では機器の更新が進められたことにより類似病院並みの水準となったが、有形固定資産の減価償却率については、老朽化が進んでおり更新整備が遅れている状況。

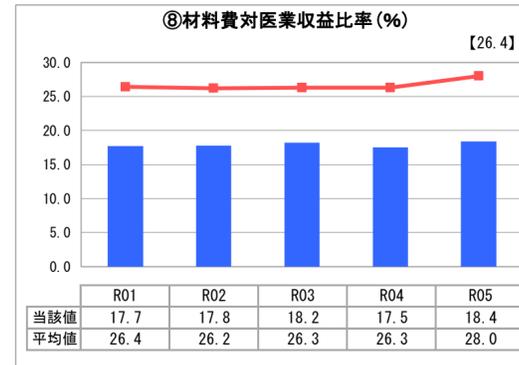
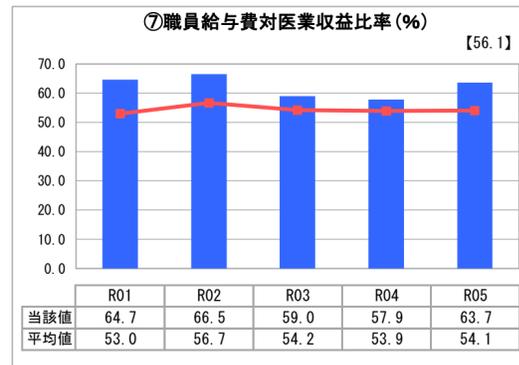
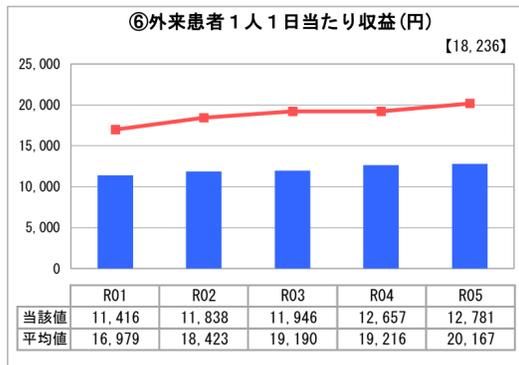
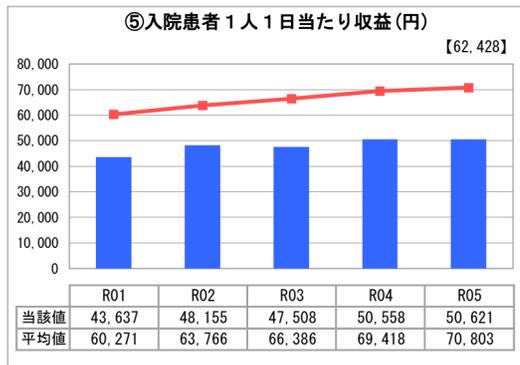
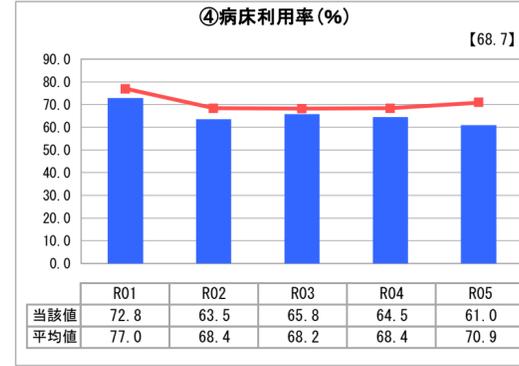
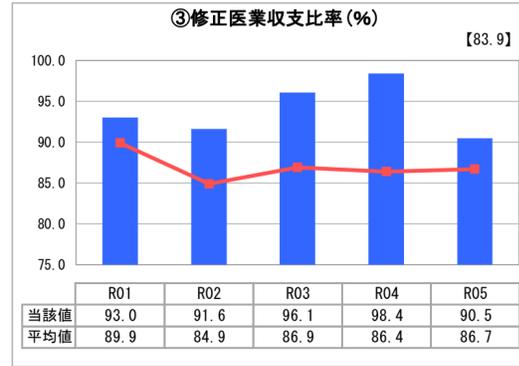
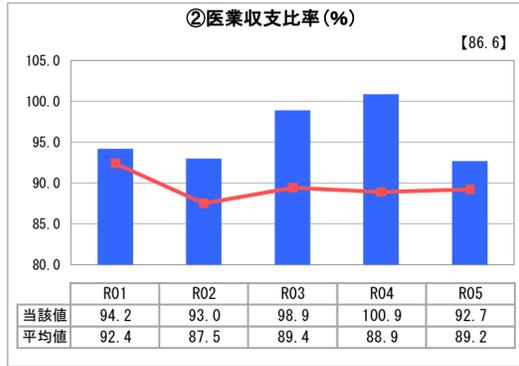
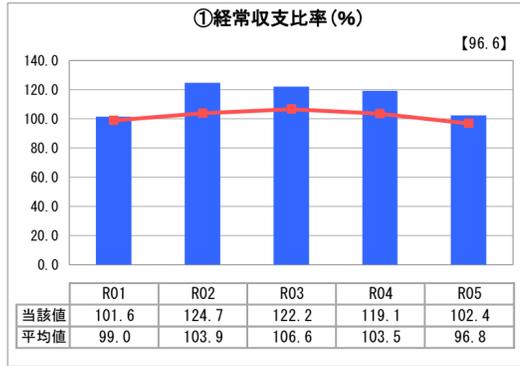
全体総括

経常収支比率及び医業収支比率は良好な状態を維持しており、健全な経営状態であると考えます。

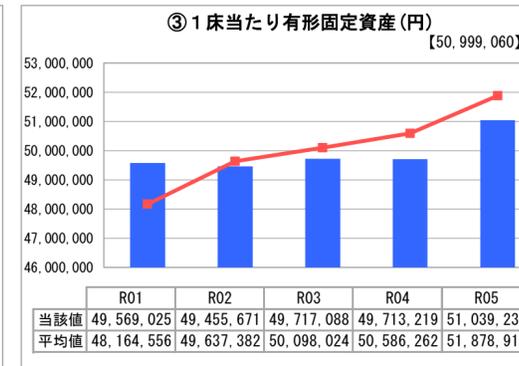
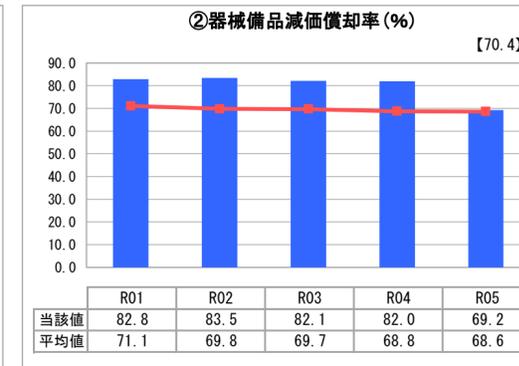
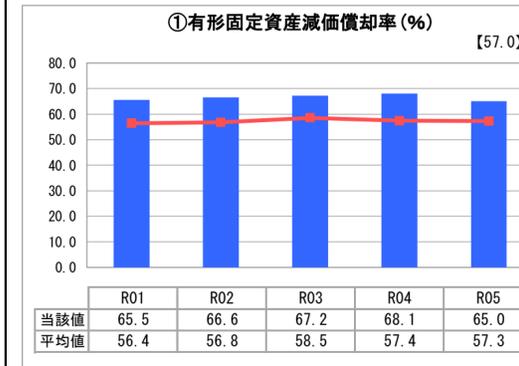
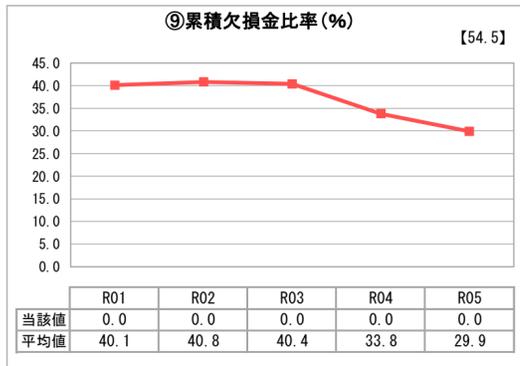
しかし、以前より患者数が減少し利用率も低下している。患者1人当たりの収益も類似病院より低い状況が続いている。

そのため収益向上に向けた取り組みとして、診療報酬の加算取得の強化や専門的な医療サービスの提供および効率的な病床運営を行い、能登地域の中核病院としての役割を果たすことができるよう、健全経営に努めたい。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。